

案4 専門分野別の部会 (治水、利用、環境など) (部会数3～5程度)

メリット

- 例えば治水、利用、環境など専門分野別の部会構成であり、その分野（部会）においては効率的な審議が行える。

デメリット

- 個別の河川工事に対する総合的な観点からの審議が期待できない。かつ即地性がない。

凡例

- 直轄管理区間
- 指定区間

